

第21回 教育セミナー

国語科分科会

研究主題

言葉の力を活用し、深い学びを目指す国語科の授業づくり
～ 主体的・対話的で深い学びにつながる言語活動を通して～

主査 邑上裕子（明星大学特任教授）

助言者 菊池英慈先生（文部科学省初等中等教育局教科調査官）

研究の ねらい

学習指導要領改訂の動向を踏まえ、国語科で育成すべき資質・能力を育てるための授業づくりについて、授業実践を通して思考し考察する。

研究の 内容

1. 育成する資質・能力を明確にし、実践単元で具体化を図る。
2. 学年や領域に応じた、主体的・対話的な学びを実践研究する。
3. 子供の学びの深まりや成長の変化を具体的に見取る方法を工夫する。

実践 発表

1. 松井 優子 指導教諭 1年・単元名「じぶんのおもいをにっきにかこう」

教材名「こんなことしたよ」「しらせたいな 見せたいな」他

- 言葉カードを作成し、ファイリングすることで語彙の獲得を図る。
- 友達との交流を通して、自分の日記の良さに気付く場面を作る。

2. 依田 亜希子 主任教諭 1年・単元名「おんどくげきをしよう」

教材名「くじらぐも」

- 音読劇を目標に、友達と意見を出し合いながら台本を作り、主体的に学ぶよう設定する。
- モデル提示や交流を通して、自分や友達の良いところを共有できる場面を作る。

3. 福山 貴司 教諭 4年・単元名「『125周年記念アルバム』を作ろう」

教材名「クラブ活動リーフレットを作ろう」

- 子供たちとともに、単元の目的・学習課題を設定し、主体的な学習を作り出す。
- 既習教材（アップとルーズで伝える）を活用した学習活動によって、深い学びにつなげる。

■タイムスケジュール■

9:30	10:00	11:00	11:30	11:40	12:30	13:40	13:45	15:40	16:00	17:00	17:05
受付	国語科分科会				昼食・休憩	開会挨拶	シンポジウム 【基調提案】 【討論】	休憩	特別講演	閉会挨拶	
	研究発表	協議	休憩	指導講演							

期日：平成30年2月24日（土） 開会10:00 閉会17:30（受付9:30～）

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 東京都渋谷区代々木神園町3-1（最寄り駅 小田急線参宮橋）

主催：一般財団法人総合初等教育研究所 後援：文部科学省・東京都教育委員会 協賛：株式会社文溪堂

第21回 教育セミナー

社会科分科会

研究主題

主体的・対話的な学習による社会科の授業づくり
～ 社会的事象の見方・考え方を生かした深い学びを求めて～

主査 梶井 貢 (一般財団法人 総合初等教育研究所 室長)

助言者 澤井 陽介 先生 (文部科学省 初等中等教育局 視学官)

研究の ねらい

1. 新学習指導要領での**新教材の実践**にチャレンジする。
2. 「**主体的・対話的で深い学び**」の授業づくりを具体的に実践する。
3. 子供が学習成果を自覚し、次の学習に意欲がつながる**評価**を工夫する。

研究の 内容

1. 「**社会的な見方・考え方**」の具体化とその指導の在り方
2. 「**主体的・対話的な学び**」に繋がる問題解決学習の改善、学習活動・形態の工夫
3. 「**学びの深まり**」の評価の工夫、「**自己の成長**」を自覚する評価の工夫

実践 発表

1. 大木直之教諭 **4年・小単元「自然災害を防ぐ」** **都市型災害（内水氾濫）の指導**
 - 4年生の新教材（県内の自然災害）の外水氾濫、内水氾濫への対策について提案する。
 - check! → ○ 関係図やロジックツリー（思考ツール）による深い学び、PMI的な評価方法
2. 笠原 駿教諭 **6年・小単元「憲法と日本の政治」** **政治先習の指導のポイント**
 - 身近な生活との関連付け、三原則と三権をセットにして扱う工夫を提案する。
 - check! → ○ 18歳選挙権についての討論会、「政治ガイド」による振り返り、パフォーマンス的な評価
3. 田内利美教諭 **6年・小単元「日本と繋がり深い国々」** **スポーツ・文化の交流の指導**
 - 「国際交流の役割」（互いに尊重し合うことの意味）をどのように扱うかを提案する。
 - check! → ○ 課題別学習や討論方式による深い学び、タブレット端末によるメタ認知の把握

■タイムスケジュール■

9:30	10:00	11:00	11:30	11:40	12:30	13:40	13:45	15:40	16:00	17:00	17:05
受付	社会科分科会				昼食・休憩	開会挨拶	シンポジウム 【基調提案】 【討論】	休憩	特別講演	閉会挨拶	
	研究発表	協議	休憩	指導講演							

期日：平成30年2月24日（土） 開会10:00 閉会17:30（受付9:30～）

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 東京都渋谷区代々木神園町3-1（最寄り駅 小田急線参宮橋）

主催：一般財団法人総合初等教育研究所 後援：文部科学省・東京都教育委員会 協賛：株式会社文溪堂

第21回 教育セミナー

算数科分科会

研究主題

数学的に考える資質・能力を育成するための算数科の授業づくり
～主体的・対話的で深い学びの実現を目指した数学的活動の充実～

主査 廣田敬一先生（帝京大学客員教授）

助言者 笠井健一先生（文部科学省初等中等教育局教科調査官）

研究の ねらい

学習指導要領改訂の動向を踏まえ、算数科で育成すべき資質・能力を育てるための授業づくりについて、授業実践を通して試行し考察する。

研究の 内容

1. 子供が課題を見いだす活動を工夫する。
2. 自己の考えを表現したり、表現された他者の考えを読み取ったりする対話的な学びの活性化の手立てを具体化する。
3. 学びの成果を、生活や次の学習に活用しようとする態度を育成する手立てを具体化する。

実践 発表

1. 青木裕子先生 4年・単元「割合」 **「割合」の指導の工夫**
 - 子供に身近なバルーンアートの風船を膨らませ、ゴムののび方を比べる活動を行う。
 - 図を基にして考えを比べ、割合で比べるよさを理解する。
2. 門田剛和先生 5年・単元「分数と小数・整数」 **“振り返り”を生かした問題解決**
 - 問題の意味に合った図やテープの操作を根拠にして意見をたたかわせる。
 - 既習の整数のわり算を振り返り、 $2 \div 3 = 2/3$ と同様のきまりが成り立つことを確認する。
3. 山口和也先生 6年・単元「資料の調べ方」 **一連の統計的な活動**
 - ハンバーグ店のメニューを決めるという目的に合うデータの収集・整理・考察の一連の活動を行う。
 - ドットプロット等に表現されたデータから、資料の特徴を読み取り、代表値についての理解を深める。

■タイムスケジュール■

9:30	10:00	11:00	11:30	11:40	12:30	13:40	13:45	15:40	16:00	17:00	17:05
受付	算数科分科会				昼食・休憩	開会挨拶	シンポジウム [基調提案] [討論]	休憩	特別講演	閉会挨拶	
	研究発表	協議	休憩	指導講演							

期日：平成30年2月24日（土） 開会 10:00 閉会 17:05（受付9:30～）

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 東京都渋谷区代々木神園町3-1（最寄り駅 小田急線参宮橋）

主催：一般財団法人総合初等教育研究所 後援：文部科学省・東京都教育委員会 協賛：株式会社文溪堂

理科分科会

研究主題

問題解決の活動を通して資質・能力を育成する理科の授業づくり
～ “深い学び” につながる問題解決や見方・考え方の在り方を求めて～

主査 寺本 貴啓 先生 (國學院大學准教授)

助言者 鳴川 哲也 先生 (文部科学省初等中等教育局教科調査官)

研究の ねらい

1. 理科における“資質・能力”や“見方・考え方”のあり方を明確にし、主体的・対話的に深い学びを意識した実践を具体化する。
2. “問題解決の力”の育成のための教師の手立てとは何か検討する。
3. 新単元・新内容で“誰でもできる”授業実践モデルを開発・提案する。

研究の 内容

1. 新単元・新内容で、よりよい授業実践モデルの提案 (留意点やポイントを含む)。
2. 新単元・新内容で、“問題解決の力”と“資質・能力”や“見方・考え方”との関係性を提案。
3. 新単元・新内容で、深い学びにつながる主体的・対話的な学びを提案。

実践 発表

3つの実践ともに、新単元・新内容で、の先行的な授業実践モデルを提案します。さらに「見方・考え方」を働かせるための教師の手立てや、“問題解決の力”の育成に重点を置き提案!

1. 岡田洋平先生 **新内容「光と音の性質」(第3学年)**
○ 新単元の授業実践モデルや、“問題を見出す力”育成の手立てとは?
2. 三井寿哉先生 **新単元「雨水の行方と地面の様子」(第4学年)**
○ 新単元の授業実践モデルや、“根拠ある予想や仮説を発想する力”育成の手立てとは?
3. 木月里美教諭 **新内容「プログラミング(電気の利用)」(第6学年)**
○ 理科に“プログラミング”を導入する際、何が大切なのか、授業構想のポイントとは?

■タイムスケジュール■

9:30	10:00	11:00	11:30	11:40	12:30	13:40	13:45	15:40	16:00	17:00	17:05
受付	理科分科会				昼食・休憩	開会挨拶	シンポジウム [基調提案] [討論]	休憩	特別講演	開会挨拶	
	研究発表	協議	休憩	指導講演							

期日：平成30年2月24日(土) 開会10:00 閉会17:30 (受付9:30～)

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 東京都渋谷区代々木神園町3-1 (最寄り駅 小田急線参宮橋)

主催：一般財団法人総合初等教育研究所 後援：文部科学省・東京都教育委員会 協賛：株式会社文溪堂

第21回 教育セミナー

道徳科分科会

研究主題

自ら考え、共に議論する道徳科の授業づくり

主査 馬場 喜久雄先生（全国小学校道徳教育研究会顧問）

助言者 浅見哲也先生（文部科学省初等中等教育局教科調査官）

研究のねらい

1. 道徳科で育てる資質・能力を明確にし、授業実践に生かす。
2. 主体的・対話的で深い学びを促す学習活動や学習形態を工夫する。
3. 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての見方や考え方を深め、意欲につながる評価の仕方を工夫する。

研究の内容

1. 指導の意図、育てる道徳性など指導観を明確にした授業案づくりと展開を工夫する。
2. 子供たちが考え方・感じ方を出せるように、発問や書く活動、教材、交流できる場の設定などを工夫する。
3. 自己を振り返り、自己を見つめる活動を重視し、自分なりの課題を把握できるような活動を工夫する。
4. 子供たちが成長を実感できるような評価を工夫し、指導者自身が授業を振り返る手立てを考察する。

実践発表

1. 小島嘉之先生 5年・主題名「広い心で」

- 明確な指導観に基づく主体的・対話的で深い学び
- * 問題解決的な学習の工夫 * 板書の工夫 * 書く活動の工夫

B（相互理解、寛容）
教材名「ブランコ乗りとピエロ」

2. 吉羽扶美子先生 3年・主題名「相手の思いを大切に」

- 主体的・対話的で深い学びへの授業改善
- * 個人持ちのホワイトボードを活用した表現活動 * 深い学びにつなげるための発問構成の工夫

B（相互理解、寛容）
教材名「ぼくらのビー玉コースター」

3. 幸阪芽吹先生 3年・主題名「みんなが使う場所」

- 主体的・対話的で深い学びと評価の工夫
- * 道徳的価値を多面的・多角的な視点から捉える * 道徳ノートの評価を生かす。

C（規則の尊重）
教材名「あめだま」

■タイムスケジュール■

9:30	10:00	11:00	11:30	11:40	12:30	13:40	13:45	15:40	16:00	17:00	17:05
受付	道徳科分科会				昼食・休憩	開会挨拶	シンポジウム 【基調提案】 【討論】	休憩	特別講演	閉会挨拶	
	研究発表	協議	休憩	指導講演							

期日：平成30年2月24日（土） 開会10:00 閉会17:05（受付9:30～）

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 東京都渋谷区代々木神園町3-1（最寄り駅 小田急線参宮橋）

主催：一般財団法人総合初等教育研究所 後援：文部科学省・東京都教育委員会 協賛：株式会社文溪堂